

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔医療安全管理部門〕

指標名

急病者未然防止システム（RRS※）の適切な起動率

※ RRS とは Rapid Response System。

目標・ゴール

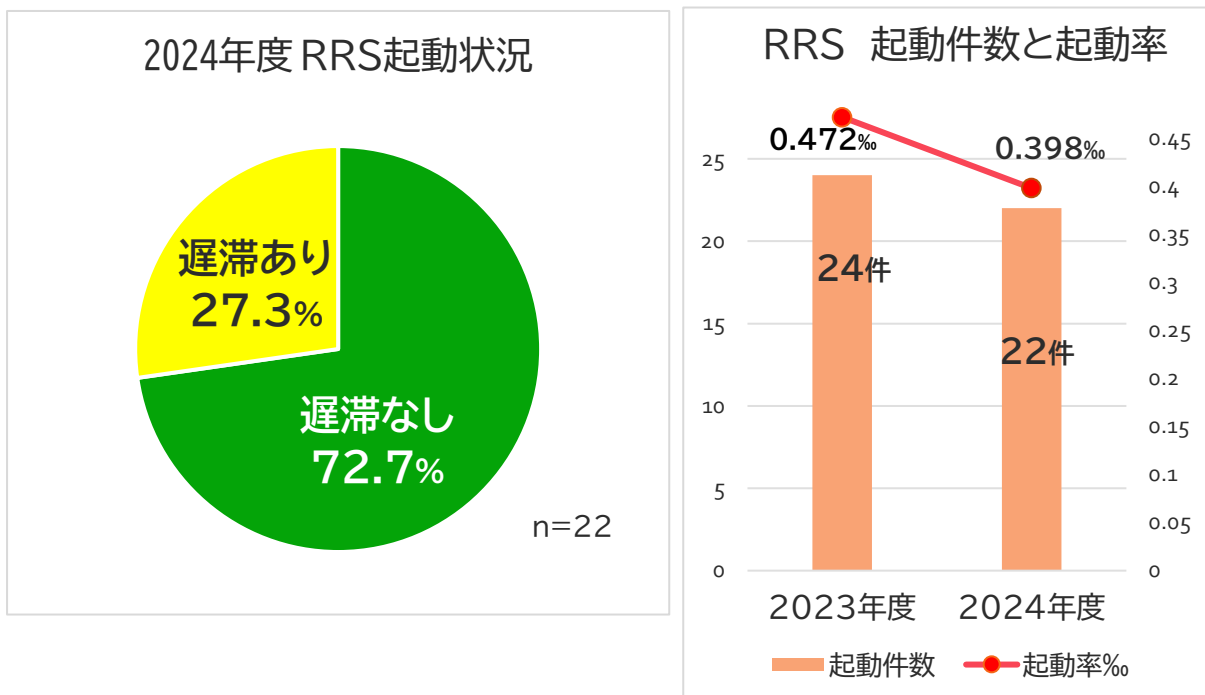
RRS 起動基準に該当後、遅滞なく RRS を起動できる

目標・ゴール達成による効果

80%

目標・ゴールに対する成果の状況

RRS 起動基準に該当後、遅滞なく RRS を起動できた症例は72.7%であった。



起動率(%) = RRS 起動件数 / 入院患者延べ数 × 1000

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☐A⁺:目標を多少上回って達成
- ☐A :目標を達成
- ☒B⁺:目標を少し下回った
- ☐B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

RRS 起動基準に該当してから RRS の起動が適切なタイミングで行われた症例は 72.7%であり目標を下回った。RRS の起動が遅い症例は 27.3%で、そのうち 1 件は搬送中にコードブルーの起動を必要とした。

また、2024 年度の RRS 起動件数は 22 件であり、RRS 起動率は前年度の 0.472‰を下回る 0.398‰であった。

RRS の起動遅れは搬送中の急変につながる可能性があるため、状態変化した患者を安全に大学病院へ搬送するためには、RRS 起動基準に該当した患者を発見したら速やかな RRS 起動が必要である。

次年度は、適切な起動のタイミングを「RRS 起動基準該当から 1 時間以内」と設定し、80%以上が適切なタイミングで起動できるよう活動していく。